

松山市平成30年7月豪雨災害対応 利子補助金を受け付けています

7月の豪雨災害で被害を受けた事業者が、松山市振興資金融資制度を利用する場合に、利子補助金を交付します。
内毎年1～12月までに返済した利子に対し、利子補助を行う。補助対象期間3年間、利子補助率年1.50%以内。※災証明書等の交付を受けていることが必要。その他の要件はお問い合わせください

問地域経済課 ☎948-6783・FAX934-1844

義援金が贈呈されました

平成30年7月豪雨で被災した方を見舞うため、8月20日に伊予民踊研究会の篠森 信子会長から義援金が贈呈されました。



篠森会長は、「今回の災害で義援金を集めていただきましたが、自分たちのまちでも被害があることを知り、松山市で被災された方の支援に役立ててもらいたいと思いましたが」と語り、野志市長は、「必ず被災された人たちのために役立ちます」と答えました。

「来庁などにより贈呈いただいた団体」 義援金

- 松山消費者四つ葉グループ
- 宮城県岩手県立高等学校
- 風早海まつり実行委員会
- ㈱日晃機械商会
- 真如苑
- 湊町4丁目大正通り町内会
- 神奈川県大和市公立小学校長会
- タートル松山ラウンドダンスクラブ
- 千葉ガールズ選手一同
- 美浜町内会
- スカターブルズ
- 一般社団法人 地域資源活用研究会
- 伊予民踊研究会
- 高木町内会
- いちき串木野市地域おこし協力隊
- 日光山輪王寺

認定NPO法人アクティブボランティア21
南海測量設計株式会社
株式会社ヤクルト球団公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
FRP工法協会
光硬化工法協会
七星会
燕市
西都市
浦添市
(敬称略) その他多くの方からお寄せいただきました。

問市民参画まちづくり課 ☎948 6814
FAX 934 3157

ライオンズクラブ国際協会3361A 地区1Rが本市に高圧洗浄機を寄贈

ライオンズクラブ国際協会3361A地区1Rが、平成30年7月豪雨災害の被害を受けた本市に高圧洗浄機を寄贈しました。



8月6日に行われた寄贈式でライオンズクラブの関係者8人が出席。藤岡明代表が市長に目録を手渡しました。
寄贈のあった19台の高圧洗浄機は、道路の土砂の除去や器具の洗浄など地域防災の要である消防団で活用されています。

夏休みに避難所の子どもたちを 道後温泉に招待

平成30年7月豪雨で被災した広島県と愛媛県南予3市の避難所で生活している中学生以下の子どもがいる世帯を夏休みに道後温泉へ1泊2日で招待しました。

愛媛県と県観光物産協会の協力を得て、本市と道後温泉旅館協同組合で実施。同組合に加盟している旅館やホテルが受け入れ、8月20日に広島県熊野町から10人、同21日には大洲市、西予市、宇和島市から21人、同22日には広島県坂町から18人、25日には広島市などから15人が参加し、松山城などを巡りました。
お出迎えセレモニーでは、同組合の南山 富左衛門理事長が「日本最古の名湯で心身ともにくつろいでください」と話し、大崎産業経済部長が「この旅が皆さんの楽しい思い出となり、少しでも今後の生活の励みになれば幸いです」とあいさつした後、記念品を子どもたちに手渡しました。



問観光・国際交流課 ☎948 6555
FAX 943 9001

久枝地区タウンミーティングを開催

市長と話そう！ 地域別 タウンミーティング



「安全・安心なまちづくり」と「地域活動の活性化」をテーマに8月18日、地域別タウンミーティングを久枝公民館で開催しました。
参加者からは、災害への備えや高齢者の拠点づくりなどについての意見や要望があがりました。

野志市長は、平成30年7月豪雨での市の取り組み状況などを説明するとともに、「災害が起こったときのために、近所の人とはできるだけつながりを持つてほしい」と話しました。

久枝地区まちづくり協議会が設立されたので、引き続き市から支援をしてほしい
● 質問に市長が誠実に答えてくれたので、参加して良かった
● 参加者が地域のことを熱心に考えているのに感心した



羽澤 知加子さん (安城寺町)

課題解決への思いが伝わった



「坂の上の雲」のまち松山市と本市は平成26年サッカー大会2018に参加する台北U-12サッカーチームの皆さんが8月17日、市役所を訪問しました。台北市と本市は平成26年10月13日に「松山市・台北市友好交流協定」を締結し、さまざまな分野で交流を進めています。スポーツ分野でサッカーを通じた交流は初めてです。
李宜陞ヘッドコーチは「松山市のスポーツ施設の設備はすばらしく皆さんのサポートも充実している」とあいさつ。北澤副市長は「日本の子どもたちとサッカーを通じて親交を深めることで、さらにさまざまな分野で交流してほしい」と話しました。

問スポーツ・インテグシティ推進課 ☎948 6226
FAX 934 1287



7月27日にマレーシア・バドミントン協会と県、本市、砥部町、県バドミントン協会とが「2020年東京オリンピックに向けた事前合宿の実施に係る基本合意書」を締結したことに基き、同国代表チームが来県し、8月20～27日に合宿を行いました。



今回の合宿にはリオ五輪代表のヴィヴィアン・フー選手をはじめ23人が来県しました。
8月24日には練習場所とマレーシアの選手が打ち方を指導

問スポーツ・インテグシティ推進課 ☎948 6226
FAX 934 1287